

| | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|
| 受験 番号 | | | | | |
| 氏名 | | | | | |

二〇二四年度 二月一日 入学試験 国語問題

国語の注意

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

答えは解答らんからはみ出さないように書きなさい。

字数の指定がある場合は、句読点や記号なども一字に数えなさい。

【試験についての注意事項】

- 1 机の上に出してよいものは、次の三つです。それ以外のものはカバンにしまってください。
 - ① シール と 受験票（机の左上におきます）
 - ② えんぴつ数本（シャープペンシルも可・色ペンやマーカー、定規は使用不可）
 - ③ 消しゴム
- 2 次のものを持ってきた場合は、カバンにしまってください。また、休けい時間中も使用してはいけません。
 - ① 腕時計・置き時計など（音が鳴らないようにしてください）
 - ② 携帯電話・スマートフォン（電源を切ってください）
 - ③ 腕時計型の情報端末（Apple Watch など）
- 3 ※ 許可なく携帯電話・スマートフォンや腕時計型の情報端末を使用した場合、不正行為とみなすことがあります。
- 3 机の中には、何も入れないでください。
- 4 チャイムが鳴ったら、次のことを完了してから始めてください。

問題用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入してください。
- 5 解答用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入し、席に準備されているシールを貼ってください。
- 5 問題についての質問は、いつまでできません。
- 6 気分が悪くなったなら、すぐに申し出てください。
- 7 物を落としたら、自分でひろわず、手をあげてください。

次の文章は、眞島^{ましま}めいり『文通小説』の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※ 設問の都合により、本文の一部に改変があります。

また、本文をⅠ～Ⅲに区切ってあります。

Ⅰ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

Ⅱ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

Ⅲ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線①～④のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 線(1)「その疑問は不安に変わって、次にはほとんど恐怖になった」とありますが、このときのちさとの気持ちの説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア いつもは強気な貴緒が珍しく謝っているところを見て、申し訳なく感じはじめ、自分が貴緒を追いつめてしまったのだと責任を感じている。

イ 久しぶりに会う貴緒の変化に戸惑い、貴緒の進路の考え方もすっかり変わってしまったらどうしようと悩ましく思っている。

ウ 自分はまだ進路について考えられていないため、貴緒に失望され、嫌われてしまうのではないかと怖気づいている。

エ 進路について話しはじめた貴緒に、いきなり謝られたことで、自分にとって思わしくない展開が起こるのではないかと怯えている。

問三 線(2)「湧いたのは怒りだ」とありますが、このときのちさとの気持ちの説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 進路についての約束を貴緒に破られて深く傷ついている自分に対して、貴緒がなれなれしく触れようとしてきたことに、強い嫌悪感と不信感を抱いている。

イ 進路についてしっかりと考えた考えを持っている貴緒が、ちさとの進路についても気にかけるそぶりを見せてきたことに対して、余計なお世話だと感じている。

ウ 突然貴緒から進路を変えたことを聞かされ、それを飲みこめずにいたところ、貴緒から自分を気遣う声をかけられたことで、貴緒への憤りがあふれ出している。

エ 進路の話し合いを先延ばしにされたのは、貴緒には進路についての約束を守る気ははじめからなかったからだと分かり、だまされたいらだちを隠せないでいる。

問四 線(3)「視界がぐにやりと歪んだ」とありますが、どのようなことですか。このときのちさとの心の動きに触れながら、五十字以内で説明しなさい。

問五 作品の中では貴緒の「髪」についてのせりふが印象的に用いられています。貴緒はかつて長い髪がトレードマークだった少女です。一つ目の文章は、このことについての生徒の鑑賞文で、二つ目の文章は、鑑賞文を読んだ友人からのコメントです。後の1～4にそれぞれ答えなさい。

〈鑑賞文〉同じ記号の空らんには、同じ内容が入る。

Ⅰで、ちさとは、約束が破られたことへのショックから、貴緒に心無いことばをぶつけてしまいました。その後、貴緒には家庭の事情があったことを知り、

Ⅱで、ちさとは自分の吐いてしまった心無いことばについて考え続けます。そし

て、今まで自分のことにはかり夢中で、自分が貴緒のことを特別扱あつかいしているのだから、貴緒も自分を特別扱いしてくれるはずだと信じて疑わなかったちさとは、貴緒の「髪型だけ同じにしたって似てないね。」(3ページ上段)ということばを思い出します。ここでちさとは、たとえ見た目を同じにしても「A 十字以内」ということに気づいたのではないのでしょうか。「自分」にばかりこだわりのをやめたい、それでも「自分」というものを失いたくないと、ちさとはその後も悩み続けます。

そしてⅢで、ちさとは図書館へ行き、「貴緒からの宿題」の答えを見つけ出します。そのときに「あたしが髪切ったのはね、忘れたくないからだよ。」(4ページ上段)ということばを思い出し、ちさとは貴緒の「B 五字」「気持ちに気づきません。髪型を同じにしたって「A」けれど、それでも相手を忘れないために、大事にしていた髪を切ることもできる。自分はこれまでも貴緒から「B」「ことをしながら手紙を書きました。文通はスマートフォンでのやりとりとは違い、「C 二字」や労力がかかる連絡手段れんらくです。しかし、だからこそ、「B」「ことができません。文通にかけたたくさんの「C」が、二人を成長させたのではないのでしょうか。

＜コメント＞

「髪」に注目するという視点がとても面白いと思いました。「自分」にばかりこだわるのをやめたい、それでも『自分』というものを失いたくない」というちさとの悩みについて、私も考えてみたいと思います。

Ⅰの「気づかないふりをすればごまかせると思った」(2ページ上段)ということばからわかるように、ちさとは「D 三十五字以内」ことに気づかないふりをしていけば、貴緒とずっと一緒にいられると思っていましたが、そうではなかったということに気づきました。このときのちさとは、自分と貴緒は「A」という事実を受け入れることができていなかったと考えられます。

しかし、最後の手紙の中の「一緒に過ごした時間を忘れない。だけでもし忘れて

も、「X 十五字以内」と思う。」(5ページ上段)というちさとのことばは、たとえ目には見えなかったとしても、自分の中には貴緒と過ごした時間がたしかに存在しているということ、「今のわたし」を作ってくれたのは間違いなく貴緒との時間であることへの気づきと、「相手」との思い出を大切にしながら「E」という、ちさとなりの答えがあらわされているのではないのでしょうか。

- 1 「A」「D」は指定の字数で自分で考えて答えなさい。
- 2 「B」「C」は指定の字数で本文『文通小説』の中から抜き出して答えなさい。
- 3 「E」は自分で考えて答えなさい。
- 4 「X」は指定の字数で自分で考えて答えなさい。

二 次の文章は、養老孟司『ものがわかるといふこと』の一節です。これを

読んで、後の問いに答えなさい。

※ 設問の都合により、本文には一部省略があります。

また、本文をⅠ～Ⅲに区切つてあります。

Ⅰ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

Ⅱ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

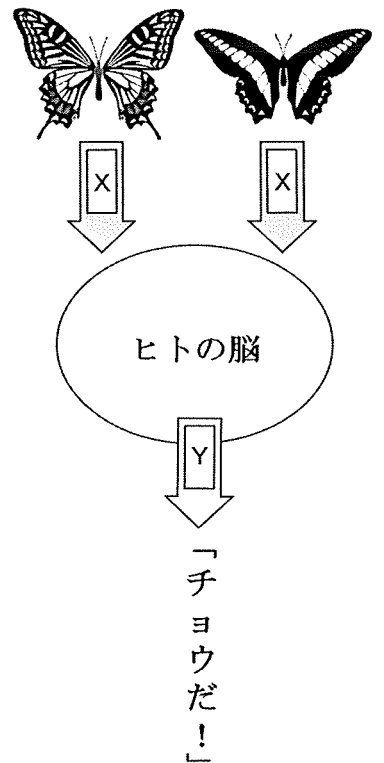
Ⅲ

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 Ⅱ 線①・②のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 次の図は、文章Ⅰの第一段落をもとに、チョウを見たときの脳の働きをまとめたものです。矢印の中の X・Y に入ることはとして適切なものを、文章Ⅰの第

一段落(「ヒトは……生み出します。」)の中から、それぞれ漢字二字で抜き出しなさい。



問三 線(1)「心の理論」とはどのようなことですか。「意識」ということばを用いて

説明しなさい。

問四 線①～④について、本文中での意味内容から分類したものととして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。(一)～(四)は同内容であることを表す)

ア (a)と(b)と(c)と(d)で内容が異なる。

イ (a)と(b)と(c)と(d)で内容が異なる。

ウ (a)と(b)と(c)と(d)で内容が異なる。

エ (a)と(b)と(c)と(d)で内容が異なる。

オ aとdは、すべて異なる内容である。

問五 線(2)「人間がそうやって毎日、毎日変わっていくことに対して、現代人はあまり実感がもてません」とありますが、これについて述べた次の文章を読み、後の1～4に答えなさい。

養老孟司『遺言。』にはこのような記述がある。

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

このことをふまえると、Ⅱの議論がより分かりやすくなる。つまり、現代生活の中では「Aア同じ／＼イ違い」を捉える「感覚」が働かないようになっている。そ

のため、我々は [] 存在であることを忘れてしまう。

さらに、[Ⅲ]をふまえると、この議論への理解がより一層深まるだろう。現代の人間は [] 存在であることを忘れてしまっているため、何か違和感を覚えたときに、相手を排除して「Bア 同じ／＼イ 違い」を守ろうとしてしまう。

「Cア 同じ／＼イ 違い」に囲まれた環境で過剰しているせいで、「Dア 変化する／＼イ 変化しない」ことが認められなくなっているのだ。筆者は、このことを指して、

「E」[]と言っている。

1 ……線「周囲に意味のあるものしか置かない」とは、どのようなことですか。

身の回りの具体例を挙げて説明しなさい。

2 [] (二か所あるが、同じ内容が入る)に入る内容を、自分で

考えて答えなさい。

3 「A」～「D」に入ることはとして適切なものをア・イから選び、記号で答えなさい。

4 「E」に入ることばとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 寛容 イ 不寛容 ウ 努力・辛抱・根性

エ 脳化社会 オ 諸行無常 カ 記号

問六

—線③「困ったことに、情報や記号は一見動いているように見えて、実際は動いていない」とありますが、これにあてはまる具体例として、最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ニュース番組は毎日更新こうしんされるため、新しい情報を発信しているように見えるが、情報発信の方法は、特に変わっていない。

イ 一つの音楽を何回か聴くと、その時どきで新しい感情になるので、自分自身に変化しているように思ってしまうが、実際は変わっていない。

ウ 広告には、映像や、写真によるものなどが存在する。映像の方が好まれがちだが、実際には、動きのない写真の方が情報を発信するのに長けている。

エ 『源氏物語』は、人によって解釈かいしやくの仕方は違うことがあるものの、実際には、文章自体は変化していない。

問七

—線④「自分のモノサシを固定化」とありますが、自分をどのように見ると、「モノサシを固定化」するようになってしまうのですか。答えなさい。

問八 次のア～エについて、文章Ⅰ～Ⅲの説明としてあてはまるものには○を、そうでないものには×を、それぞれ答えなさい。

ア 人は五歳になると、知能が急速に発達し、「違い」を認識する能力を獲得するため、他者を思いやることができるようになる。

イ 人間の脳は、できるかぎり多くの個人間の差異をつくり、個性を編み出すために発展してきたため、自分と似た人に出会った際には、脳が受けつけなくなってしまう。

ウ 言葉より少し広い概念がいねんである記号の特徴としては、老いていく人間とは違い、記号はいつまでも変わらない。

エ 人間は、めまぐるしく変化する情報に囲まれているため、自分は成長しているのだと錯覚さくかくしてしまう。

